

1 調査内容等

実施日 : 平成26年4月22日(火)
調査対象 : 小学校第6学年(1,663名), 中学校第3学年(1,267名)
調査内容 : (1) 教科に関する調査(国語, 算数・数学)
 ・ 国語A, 算数・数学A: 主として「知識」に関する問題
 ・ 国語B, 算数・数学B: 主として「活用」に関する問題
 (2) 質問紙調査
 ・ 児童・生徒が回答する質問
 ・ 学校が回答する質問

2 調査の概要

(1) **今年度の調査問題の特徴**
 ・ これまでの調査で見られた課題についての改善状況を把握する観点から, 問題を出題した。
 (2) **都道府県の状況**
 ・ 上位と下位の自治体の平均正答率の差が, 昨年度と比べて縮小傾向にあり, 学力の底上げが進展している。
 ・ 小学校調査において, 過去の結果と比較して, 顕著な改善が見られる都道府県(例: 沖縄県)がある。
 (3) **調布市の状況**
 ・ 各教科A・Bの平均正答率は, 中学校の数学Aを除いて, 他のすべては, 国や都の平均正答率を上回っている。
 ・ 調布市の平均正答率と国や都の平均正答率との差は, 全体的にB「活用」の方がA「知識」より大きい。

3 小学校における「国語, 算数の平均正答率」及び「各領域別の平均正答率」

	国語A		
	調布市	東京都	国
平均正答率(全体)	76.3	75.5	72.9
話すこと・聞くこと	77.5	74.1	72.4
書くこと	76.8	75.0	72.2
読むこと	75.5	72.9	68.5
伝統的な言語文化・特質事項	76.3	76.1	73.7

	国語B		
	調布市	東京都	国
平均正答率(全体)	59.5	57.2	55.5
話すこと・聞くこと	56.3	53.7	51.2
書くこと	38.0	35.3	34.4
読むこと	60.9	58.8	57.3
伝統的な言語文化・特質事項	74.4	71.6	69.8

	算数A		
	調布市	東京都	国
平均正答率(全体)	80.3	79.4	78.1
数と計算	84.2	83.0	81.8
量と測定	77.4	75.5	74.8
図形	74.0	73.7	71.8
数量関係	82.6	82.4	81.3

	算数B		
	調布市	東京都	国
平均正答率(全体)	63.9	61.2	58.2
数と式	66.1	64.0	61.3
図形	62.9	59.7	56.5
関数	72.8	68.7	65.7
資料の活用	61.6	59.1	56.2

6 中学校における「国語, 数学の平均正答率」及び「各領域別の平均正答率」

	国語A		
	調布市	東京都	国
平均正答率(全体)	82.7	80.7	79.4
話すこと・聞くこと	75.7	73.5	72.3
書くこと	86.4	84.8	83.4
読むこと	87.9	85.4	82.9
伝統的な言語文化・特質事項	81.4	79.6	78.7

	国語B		
	調布市	東京都	国
平均正答率(全体)	54.9	53.2	51.0
話すこと・聞くこと	45.8	43.3	41.0
書くこと	53.1	51.6	49.2
読むこと	61.6	59.2	56.8
伝統的な言語文化・特質事項	61.6	59.2	56.8

	数学A		
	調布市	東京都	国
平均正答率(全体)	68.6	68.8	67.4
数と式	78.4	78.4	77.4
図形	68.8	68.5	66.4
関数	59.9	59.4	58.0
資料の活用	56.4	59.7	59.1

	数学B		
	調布市	東京都	国
平均正答率(全体)	63.1	61.8	59.8
数と式	59.9	58.1	56.9
図形	62.7	61.7	58.6
関数	67.3	65.8	64.4
資料の活用	58.4	57.3	55.9

4 小学校の国語における優れている点及び課題点

優れている点	国語A 【言語文化・特質事項】	【「漢字を書く」設問】 「漢字を正しく書く」主題趣旨の理解においては, 都の平均を0.7ポイント上回っており, 正答率98.1%と国語Aの中で最も高い正答率となっている。
	国語B 【読むこと】	【「詩の表現の特徴として適切なものを選択する」設問】 「2つの詩を比べて読み, 表現の工夫を捉える」主題趣旨の理解においては, 都の平均を4.6ポイント上回っており, 正答率83.7%と国語Bの中で最も高い正答率となっている。
課題点	国語A 【言語文化・特質事項】	【「故事成語の使い方として適切なものを選択する」設問】 「故事成語の意味と使い方を理解する」出題趣旨の理解においては, 都の平均を1.2ポイント下回っており, 正答率53.3%と国語Aの中で最も低い正答率となっている。
	国語B 【話すこと・聞くこと】	【「友達の発言に対し, 手書きの立場から質問か意見を書く」設問】 「立場を明確にして, 質問や意見を述べる」出題趣旨の理解においては, 都の平均を3.2ポイント上回っているものの, 正答率32.4%と国語Bの中で最も低い正答率となっている。

7 中学校の国語における優れている点及び課題点

優れている点	国語A 【言語文化・特質事項】	【「適切な語句を選択する(先のことはわからないが, とりあえず準備だけはしておく)」設問】 「語句の意味を理解し, 文脈の中で適切に使う」主題趣旨の理解においては, 都の平均を1.0ポイント上回っており, 正答率97.1%と国語Aの中で最も高い正答率となっている。
	国語B 【言語文化・特質事項】	【「殿様の言葉が表す殿様の姿として適切なものを選択する」設問】 「落語に登場する人物の言動の意味を考え, その姿を想像する」主題趣旨の理解においては, 都の平均を1.4ポイント上回っており, 正答率72.7%と国語Bの中で最も高い正答率となっている。
課題点	国語A 【話すこと・聞くこと】	【「二人の発言を聞いて, 意見の相違点を整理する」設問】 「目的に沿って話し合い, 互いの発言を検討する」出題趣旨の理解においては, 都の平均を1.0ポイント上回っているものの, 正答率58.2%と国語Aの中で最も低い正答率となっている。
	国語B 【読むこと】	【「本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する」設問】 「複数の資料を比較して読み, 要旨を捉える」出題趣旨の理解においては, 都の平均を2.4ポイント下回っており, 正答率29.3%と国語Bの中で最も低い正答率となっている。

5 小学校の算数における優れている点及び課題点

優れている点	算数A 【数と計算】	【「46+57を計算する」設問】 「繰り上がりのある加法の計算をすることができる」主題趣旨の理解においては, 都の平均を0.1ポイント上回っており, 正答率96.9%と算数Aの中で最も高い正答率となっている。
	算数B 【数と計算】	【「示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ」設問】 「示された場面から計算の結果の見通しをもち, 2位数×1位数の筆算をすることができる」主題趣旨の理解においては, 都の平均を1.0ポイント上回っており, 正答率96.0%と算数Bの中で最も高い正答率となっている。
課題点	算数A 【図形】	【「コンパスを使った平行四辺形の書き方について, 用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ」設問】 「作図に用いられている図形の約束や性質を理解している」出題趣旨の理解においては, 都の平均を0.1ポイント上回っているものの, 正答率52.4%と算数Aの中で最も低い正答率となっている。
	算数B 【数量関係】	【「妹の身長を基に, 妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く」設問】 「示された情報を整理し, 筋道を立てて考え, 小数倍の長さの求め方を記述できる」主題趣旨の理解においては, 都の平均を1.4ポイント上回っているものの, 正答率39.0%と算数Bの中で最も低い正答率となっている。

8 中学校の数学における優れている点及び課題点

優れている点	数学A 【図形】	【「線対称な図形を完成する」設問】 「対称軸が与えられたときに, 線対称な図形を完成することができる」主題趣旨の理解においては, 都の平均を0.5ポイント上回っており, 正答率94.6%と数学Aの中で最も高い正答率となっている。
	数学B 【図形】	【「外から校舎を見た図で, 案内図に示された非常口の位置を選ぶ」設問】 「日常的な事象を表した図を観察し, 空間における位置に関する情報を適切に読み取ることができる」主題趣旨の理解においては, 都の平均を2.4ポイント上回っており, 正答率95.8%と数学Bの中で最も高い正答率となっている。
課題点	数学A 【資料の活用】	【「生徒60人の通学時間を分布を表した度数分布表から, ある階級の相対度数を求める」設問】 「度数分布表から相対度数を求めることができる」出題趣旨の理解においては, 都の平均を7.8ポイント下回っており, 正答率33.1%と数学Aの中で最も低い正答率となっている。
	数学B 【図形】	【「∠BAC=110° BD=ADのとき, ∠AEの大きさを求める」設問】 「付加された条件の下で, 証明を振り返って考え, 事柄を用いることができる」出題趣旨の理解においては, 都の平均を0.1ポイント下回っており, 正答率24.6%と数学Bの中で最も低い正答率となっている。